

平成 30 年度大野城市芸術文化に関するアンケート（関係団体、文化連盟、小中学生）
調査報告書（概要）

◆関係団体へのアンケート

1. 調査結果の分析

（1）団体の活動実態

- 団体の活動規模が「小さくなってきている」2.6%に対し、団体の活動内容が「低下している」と答えた割合は7.7%となっており、活動規模は小さくなっていないのに、活動内容が低下している団体が存在することがわかる。
- 団体の課題については、「メンバーの高齢化」や「新メンバーの確保」といった団体の人員構成に課題があることがわかる。
- 活動場所については、市内施設の割合が多く、公民館やコミュニティセンターなど地域にある施設の利用が多いことがわかる。

（2）大野城市の芸術文化活動の将来について

- 本市の芸術文化施策への満足度は「満足している」「ある程度満足している」が8割を超えており、満足度は高いといえる。
- 芸術文化活動の充実がどの程度必要とされているかについて、「高齢者の芸術文化活動」が最も重要視されており、次いで「学校教育の場での芸術文化活動」「学校教育の場以外での青少年の芸術文化活動」が必要とされており、子どもや高齢者に対しての芸術文化活動が必要だと感じている人が多いことがわかる。
- 芸術文化に関する具体的な施策については、「社会的少数者の芸術文化活動の充実」が92.3%で最も必要な施策として考えられている。
- 芸術文化通じたコミュニティによるまちづくりへの参加意欲については、何らかの形で参加したいと考えている団体が9割近くを占めており、参加意欲が高いことが伺える。
- プランへの期待については、「文化を通じたコミュニケーションの形成」や「施設の活用方法の見直し」などの意見がある。

◆文化連盟へのアンケート

1. 調査結果の分析

（1）団体の活動実態

- 団体の主な年代については「60代以上」を中心とした団体が48.1%を占めており、高齢の方が多く加入していることがわかる。
- 活動を行う場所は、市内施設が8割を超えており、成果発表の場に関しては「大野城まどかぴあ」が44.9%であり、市内の施設が多く活用されていることがわかる。
- アウトリーチ事業に取り組んでいない約4割の団体のうち、「今後取り組んでみたい」と回答した団体は1割程度に留まっており、意欲は低いことがわかる。
- 団体の課題については、「メンバーの高齢化」や「新メンバーの確保」といった団体の人員構成に課題があることがわかる。

（２）大野城市の芸術文化活動の将来について

- 本市の芸術文化施策への満足度は「満足している」「ある程度満足している」が９割近くを占めており、満足度は高いといえる。
- 芸術文化活動の充実がどの程度必要とされているかについて、「高齢者の芸術文化活動」が最も重要視されており、次いで「学校教育の場での芸術文化活動」が必要とされていることがわかる。
- 芸術文化に関する具体的な施策については、「社会的少数者の芸術文化活動の充実」が 93.1%で最も必要な施策として考えられている。
- 芸術文化通じたコミュニティによるまちづくりへの参加意欲については、何らかの形で参加したいと考えている団体が 9 割近くを占めており、参加意欲が高いことが伺える。
- プランへの期待については、「地域でのイベント出演への充実」や「発信していく人の育成」などの意見がある。

◆小中学生へのアンケート

１．調査結果の分析

（１）小中学生の活動実態

- 芸術文化を鑑賞した割合は中学生が 8 割を超え、小学生は 9 割を超えており、鑑賞した割合は高いといえる。
- 芸術文化を鑑賞した場所については、小中学生ともに学校での鑑賞機会が 1 割弱であり、学校で鑑賞する機会はまだ確保されていないことがわかる。
- 中学生では芸術文化を鑑賞するために「出かけなかった」と回答した人のうち、4 割が「興味がないから」と回答している。（小学生は「興味がないから」と答えた人は 0 人）小中学生ともに芸術文化活動をしない理由としては「塾やスポーツ活動が忙しくて時間がとれないから」の割合が最も高くなっている。

（２）芸術文化に対する小中学生の意識

- 芸術文化の必要性について、「必要である」「ある程度必要である」と答えた人が小中学生ともに 8 割を超えており、小中学生にとって芸術文化は必要とされていることはわかる。

（３）大野城市の芸術文化活動の将来について

- 芸術文化通じたコミュニティによるまちづくりへの参加意欲については、何らかの形で参加したいと考えている人が小学生では 100%、中学生では 9 割を超えており、参加意欲がかなり高いことが伺える。
- 本市が芸術文化を通じてどのようなまちになってほしいかは、「芸術などの文化にふれやすい町」や「今までの文化を守りながら、新しい事も取り組んでいくまち」、「芸術文化で人と人がつながるまち」などの意見がある。